

一般質問

一般質問とは、議員が高山市政全般にわたり、事務執行の状況及び将来に対する方針などについて所信を質するとともに、報告、説明を求め疑問を質するものです。

介護保険施設の老朽化
対策などの支援を

新政たかやま
西本 泰輝



問 運営開始から数十年が経過し、老朽化が進む特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの施設サービスの維持・確保を懸念している。市は、必要な施設サービスの維持確保のため、特養老や老健といった介護保険施設の老朽化対策など、責任をもって支援すべきではないか。

答 「高山市老人福祉計画・第9期介護保険事業計画」の期間中に、施設の運営法人に対し、思いや課題についてヒアリング・意見交換を実施する予定である。国や県には施設の改修に対する支援を要望するとともに、市として必要となる対応について検討していく。

さるぼぼの振興について

みんなで未来をつくる会
丸山 純平



問 飛騨地域を代表する民芸品「さるぼぼ」を作りする内職者の高齢化、作り手の減少は深刻である。市はどう支援していくのか。

答 さるぼぼの製造事業者からは、コロナ禍の影響により半数程度に減少した作り手を、需要の回復によって確保しようとしてもなかなか集まらない状況にあると伺っている。現時点において、さるぼぼを製造する人材を将来にわたって安定的に確保するための具体的な解決策を持ち合せているわけではない。飛騨地域の大切なブランドの一つである「さるぼぼ」の製造が今後も持続可能なものとなるように、製造事業者の皆さまと意見交換しながら、実効性のある取組や政策について研究していく。



健診に基づく市民の
健康評価について

みんなで未来をつくる会
益田 大輔



問 特定健診においてHbA1cが5.6から6.4(%)の境界領域が70%と高く、全国平均や県内の他市と比べても高い状況が続いている。6.5以上を合わせると80%になり、市民の5人に4人が糖代謝異常リスクということになる。中3健診においても、HbA1c5.6以上がすでに42%であることから、全世代への情報周知、食育の啓発が必要と考えるが市の見解は。

答 HbA1cが高い明確な理由は不明だが、若年層でも同様の傾向があり大きな課題である。食育は市民の健康増進に欠かせない取組であり、あらゆる機会や手段を通じて全世代に啓発を続けていきたい。



市民意見は市政に反映
されるか

高山市議会公明党
中 箴 博之



問 市民は市政に不満を持ちながらも、意外と声を上げられないでいる。市としてパブリックコメントやアンケートは行われているが、寄せられた意見は反映されているか。特定の人や団体だけではない「声なき声」を反映しようとしているか。

答 市民意見の把握・反映は手間のかかる作業ではあるが、コミュニケーションを大切に、市民の声の裏側にどんな不安があるのか、どういう思いが込められているのかと、いうことを察しながら、声なき声にもバランスをとって政策に反映させたい。

